



エンタメ水先案内人
仲野マリの
きっと歌舞伎が観たくなる本

地方の 芝居小屋 を巡る

今も残る地方の芝居小屋の素晴らしさ、特別な雰囲気
で楽しめる歌舞伎観劇の楽しさ。プロとはまた違
った地芝居の魅力も含め、ご紹介してまいります。

岐阜・長野・香川・秋田など、行き方ガイド付！

地方の芝居小屋を巡る

～芝居小屋と地芝居の魅力～

エンタメ水先案内人 仲野マリ

本コンテンツは、2019年に「かもめの本棚」に公開された内容をもとに、加筆修正して作成されています。[「かもめの本棚」](#)では、現在第一回の「金丸座」の文章のみ無料公開されています。

本著に掲載されている写真は、特に記載のないものは筆者が現地で撮影したものです。

*表紙は金丸座の花道近景

はじめに

「歌舞伎を観られる劇場」といわれて真っ先に思いつくのは、東京・銀座の歌舞伎座でしょうか。他に国立劇場、京都の南座、大阪松竹座、名古屋の御園座などが思い浮かびますが、これらは歌舞伎座の約 2000 席を筆頭に、いずれも 1000 席以上の客席を持つ大劇場です。

でも江戸時代、歌舞伎はもっと小規模な芝居小屋で演じられていました。そういう小屋が、実は日本全国に点在し、しかも現役で使われています。その味わいと言ったら！ 一度行けばハマること間違いなしです。

小さな芝居小屋だからこそ楽しめる歌舞伎観劇の楽しさ、そして今も残る昔ながらの芝居小屋の素晴らしさとともに、それを活用して連綿と続く、プロとはまた違った地芝居（じしばい）の魅力を、この本ではご紹介していこうと思います。

ご祝儀を出した人の名前を書いた「花」を飾った鳳凰座（岐阜県）の内部



はじめに	4
------	---

第1章 プロの歌舞伎役者を魅了した昔ながらの芝居小屋	8
----------------------------	---

【香川県 金丸座（旧金毘羅大芝居）】	9
--------------------	---

こんぴら歌舞伎で江戸時代にタイムスリップ	9
----------------------	---

こんぴら歌舞伎が始まったきっかけ	10
------------------	----

【平成中村座】	13
---------	----

「東京に金丸座を！」が叶った仮設芝居小屋	14
----------------------	----

【岐阜県 相生座美濃歌舞伎博物館】	15
-------------------	----

原点回帰のレジェンドを生んだ本格芝居小屋	16
----------------------	----

歌舞伎博物館としての相生座	18
---------------	----

【岐阜県 かしも明治座・東座】	20
-----------------	----

中村屋兄弟が名誉館主の理由	21
---------------	----

岐阜の芝居小屋に行くには？	22
---------------	----

第2章 「素人芝居」と侮るなかれ	24
------------------	----

【長野県 大鹿歌舞伎】	25
-------------	----

農村芝居を有名にした映画「大鹿村騒動記」	26
----------------------	----

【香川県小豆島 肥土山農村歌舞伎・中山農村歌舞伎】	27
---------------------------	----

「芝居」は神社の境内で	28
-------------	----

【秋田県 森岳歌舞伎】	32
-------------	----

「台風直撃でもやる！」が奉納スピリット	33
---------------------	----

【岐阜県 高雄歌舞伎】	34
-------------	----

プロ顔負けのスーパープレイも！	35
-----------------	----

小学校の体育館で、飲みながら食べながら見る歌舞伎	38
--------------------------	----

本当は今でも高雄神社の廻り舞台	40
-----------------	----

第三章 地芝居のミライ、歌舞伎のミライ？	42
----------------------	----

【滋賀県 長浜曳山祭】	43
-------------	----

世界遺産になったモバイル芝居小屋	44
------------------	----

文化の保護継承の基地・曳山博物館	50
【岐阜県 垂井曳やままつり】	52
「古式練り込み」はテーマパークのパレード！	53
【岐阜県 東美濃ふれあいセンター歌舞伎ホール】	54
「平成の芝居小屋」で気づかされた歌舞伎のミライ	55
【岐阜県 常盤座】	60
奇跡の芝居小屋「常盤座」はバトンを未来につないだ	61
【岐阜県 ぎふ清流文化プラザ長良川ホール】	63
コロナ禍の中でやり遂げた「地歌舞伎勢揃い公演」	64
あとがき	65

第1章 プロの歌舞伎役者を魅了した昔ながらの芝居小屋

香川県 金丸座（旧金毘羅大芝居）の正面



【香川県 金丸座（旧金毘羅大芝居）】

こんぴら歌舞伎で江戸時代にタイムスリップ

今、一番チケットの取りにくい歌舞伎公演——それは「四国こんぴら歌舞伎大芝居」ではないでしょうか。香川県高松市から電車で1時間の琴平町にある金丸座（旧金毘羅大芝居）は、天保6年（1835年）に建てられた現存する日本最古の芝居小屋です。収容人数は750人足らず。そこに地元の人だけでなく、東京などわざわざ遠方からもお客が殺到します。毎年4月、人気の歌舞伎俳優たちがやってきて歌舞伎を演じる興行・こんぴら歌舞伎は、2019年で35回を数えます。都会から遠く、座席は狭く、不便なことの多い芝居小屋が、なぜここまで人の心を掴むのでしょうか？

その理由は……舞台が近い！ 役者が客席の間を駆け巡る！ そして、まるで江戸時代にタイムスリップしたような特別な空間！ これに尽きるといえましょう。入口は「鼠木戸（ねずみきど）」。料金を払わずにすり抜けられないよう、戸口を小さくし、一人ずつ体がかがめなくては入れないようにしてあります。土間で靴を脱ぐと、緋の着物を着たお茶子さんが席まで案内してくれます。舞台の前は「平場（ひらば）」といい、相撲の升席と同じく、板の間を縦横に区切ってその中に座布団を敷いて座るのですが、江戸時代はひとマス5人も入れたとか。体格のよくなった現代人にはとても無理なので、4人、3人……と定員が減っているのが現状のため、ますますプラチナチケットになってしまいます。

通路はマスを区切る細い板と花道、そして逆サイドにある仮花道。幕が開けば、そこを役者さんが通ります。お客さんの間を縫うようにして歩き、たまに立ち止まっては「あ！ ここにお地蔵さんが！ 拝んでいこう」などと客いじりをする演出も定番で、楽しいこと楽しいこと！ 観客のどよめきが小屋全体に響き渡り、まるでテーマパークのアトラクションのように、お芝居の一部になって遊ぶ感覚で楽しめます。小屋の周りに広がる山々の風景もどかで、まさに江戸時代にタイムスリップしたかのよう。それほど魅力的な芝居小屋であり、「来年もまた来たい！」と誰もが思わずにはいられません。

こんぴら歌舞伎が始まったきっかけ

金丸座の内部



この空間には、役者もまた心をわしづかみにされました。こんぴら歌舞伎が始まったきっかけは、1984年に放映されたテレビ番組です。歌舞伎俳優の中村吉右衛門、澤村藤十郎、中村勘九郎（当時。故・十八世中村勘三郎）が、現存中日本最古とされる金丸座を訪れ対談するという内容。彼らは内部を隅から隅まで見学しながら、歌舞伎に欠かせない回り舞台や、せり・すっぽんなどの舞台構造も含め、全てがしっかりと保存されていたことに驚嘆します。そして話は、当然「ここで芝居ができたなら」に移っていきました。

「明かり窓を全部閉めたら真っ暗、真の闇だ」

「それでここからお岩さんがにゅっと出てきたら、怖いよ～。お客さんは悲鳴をあげるだろうね」

嬉々として語り合う3人。

「せっかくの芝居小屋なのに、拝観料取って見学させてるだけじゃもったいないよ」

「芝居をやってこそ、この小屋にも血が通い、命が吹き込まれる」

彼らが最も痛感したのは舞台の「間口」つまり幅です。物語の上では貧しい暮らしを営む長屋の一部屋や、男と女が密かに逢瀬を楽しむ四畳半が、大劇場では都合上、20畳もあろうかという立派な部屋になってしまいがち。2、3歩も歩けば行けるはずの戸口も、かなり遠くに作られていたりします。

人間の生活の中に自然にある様々な「息づかい」が、歌舞伎の本にはちゃんと書かれていたのに、大劇場のスケールに合わせてしまったために間延びして、芝居の緊張感がリアルでなくなっていないか？ その落差を、我々は意識して埋めて来たか？ ——金丸座の空間は、彼らを芝居の原点に立たせ、これまでの芝居を見直すきっかけをも与えたのです。

翌85年、中村吉右衛門を座頭とする第1回「こんぴら歌舞伎大芝居」が開催されました。以来35年、大幹部も含め、次々と人気役者が金丸座での公演に出演しています。実は長い間、歌舞伎の役者にとっては大劇場での大芝居公演こそステイタスであり、地方の芝居小屋は旅芸人や素人芝居のための空間だとされた時代が続いていました。そんな常識を覆し、こうした小さな空間でこそ歌舞伎の本当の面白さが一番伝わることを名実ともに明らかにしたのは、金丸座という昔ながらの芝居小屋なのです。

◆金丸座に行ってみよう

金刀比羅宮参道の鳥居



[金丸座](#)は、通称「こんぴらさん」の金刀比羅宮からすぐ。こんぴら歌舞伎が開催されるのは毎年4月のみですが、その他の期間はイベント開催時以外、芝居小屋の内部が500円で観覧できます。こんぴらさんにお参りするついでにちょっと寄ってみてはいかがでしょうか。

金丸座へは、JR 琴平駅・琴電琴平駅から徒歩20分あるいはタクシーで5分。琴平駅まではJR 特急で岡山駅から約1時間。高松空港から車で約40分です。

(以下は Google マップの URL です)

<https://goo.gl/maps/XSUEhRpsJBY4wDy17>

【平成中村座】

平成中村座の内部



「東京に金丸座を！」が叶った仮設芝居小屋

金丸座に行ってみたい！……でも四国は遠い……という方には、「平成中村座」がオススメです。故・中村勘三郎が作った仮設の芝居小屋です。東京・浅草の隅田川沿いに初めて建ったのが2000年。鉄骨を組んで作られてはいますが、場内は金丸座を思わせる雰囲気。客席の前半分は平場に座布団敷きです。勘三郎は、平成中村座に先立って始めた「コクーン歌舞伎」でも、渋谷の劇場シアターコクーンの前座席を取り払って平場にしていました。それだけ、「芝居小屋」の雰囲気にこだわりがあったのだと思います。

舞台の背景が開いて、そこから神輿が乱入したり、隅田川や大阪城を借景にするなどの斬新な演出も、平成中村座ならではの。江戸時代にならって舞台の上にも客席をしつらえたので、幕が閉まっている時の役者の顔が見られる席もあり、これは他の劇場では味わえない楽しみになっています。その後、浅草寺の裏や、大阪、名古屋、2019年11月九州にも初上陸。また2004年には、なんとニューヨークのリンカーン・センター敷地内にも「平成中村座」を建てて公演を行いました。

◆「平成中村座」をもっと知りたい人は、こちらをチェック！

平成中村座の[公式サイト](#)があります。

【岐阜県 相生座美濃歌舞伎博物館】

相生座の内部



原点回帰のレジェンドを生んだ本格芝居小屋

「私の地元面白い地芝居があるから、一度見に来ませんか？」

そう誘われて、歌舞伎俳優の三代目市川猿之助（当時・猿翁）が、岐阜県瑞浪市の日吉を訪れたのは昭和 50 年ごろ。日吉にある相生座は、岐阜県 JR 瑞浪駅から車で 20～30 分の日吉町、標高 500m の山中にありました。バスの便も悪く、タクシーに乗ると片道で約 4000 円もかかってしまいます。曲がりくねった鬼岩木曾川街道をどこまでも上がっていく、そんな場所が、現在の歌舞伎隆盛に大きな役割を果たすことになります。

猿之助を地芝居に誘ったのは小栗克介です。小栗は地元の日吉でゴルフ場を経営する傍ら、昔から村芝居に使われてきた 4000 点にもものぼる衣装や小道具の保存を一手に引き受け、古老に相談しながら従業員を巻き込んで芝居作りをしていました。

ゴルフ場の一面のガレージ付近にテントを張って演じられた地芝居を観て、三代目猿之助はいたく感激したといいます。

「同じ演目でも、大歌舞伎よりこっちのほうが面白い！」

プロの歌舞伎では洗練され削ぎ落されてしまった小ネタが残り、観客と一体になって楽しめる地芝居に、猿之助は歌舞伎の本来の魅力を見たのでした。そして彼は、この時の衝撃が、後に「スーパー歌舞伎」をあみ出すきっかけとなるのです。

当時はテレビなど新たな娯楽に押され、地方の芝居小屋は次々と閉場していました。

県内の芝居小屋「相生座」（下呂市、明治 28 年創建）と「常盤座」（明智町、現・恵那市）の閉場を聞きつけた小栗は、2 つを譲り受けて相生座の客席部分と常盤座の舞台機構を合体し、日吉に移築することを決めます。

そして昭和 51 年、猿之助は移築が完了した相生座で、江戸歌舞伎の原点とも言える「ろうそく芝居」の復活を果たしました。和ろうそくだけを照明に使って、本当に芝居ができるのかの実証実験です。ろうそくの光の下では金糸銀糸の衣裳や赤く塗った顔がよく映えました。そして水槽に水を溜め、本水（ほんみず＝本物の水）の中で「鯉つかみ」、鯉と人間の格闘が繰り広げられると、跳ね上がる水しぶきをろうそくの火がいよいよ輝かせ、観客は大興奮！

「芝居はお祭りのようなもの。みんなと一緒に楽しむもので、お客さんと舞台の上が一緒に盛り上がる。それが、地芝居には残っている」

実はその頃、大劇場でも歌舞伎からの客離れが甚だしく、歌舞伎座でも歌謡ショーなど歌舞伎以外の公演が催され、そちらのほうがお客の入りがよいという状況だったのです。

そんな空気を一変させたのが猿之助でした。本水（ほんみず＝本物の水を使う）や宙乗り（ワイヤーアクション）、早替わりなど、エンターテインメント性を強く押し出した演出を次々と繰り出し、新たなファンも生まれていきました。

でもこれらは新しく考えられたものではありません。そう、復活させた「ろうそく芝居」と同じく、いずれも江戸時代に「ケレン」と呼ばれた、人気の演出法だったのです。

相生座で「ろうそく芝居」を上演するため、猿之助は岐阜の地芝居を支えてきた振付師の松本団升に教を乞いました。岐阜県重要無形文化財に認定されている団升は、「プロの役者に言える立場ではない」と謙遜しつつも、自分の知識や経験を惜しみなく伝えたと言います。岐阜に残る様々な型、その中には大歌舞伎には残っていないやり方もありましたが、それらはもともと勉強家の猿之助の引き出しの中を、さらにふくらませていきました。

やがてこうした「ケレン」を駆使し、スピード、ストーリー、スペクタクルの3Sをモットーにした新しい歌舞伎「スーパー歌舞伎」が完成。アニメ「ワンピース」の歌舞伎化は、この「スーパー歌舞伎」の延長線上にあります。

相生座でのろうそく芝居から40年以上経った今、歌舞伎では宙乗りも本水も早替わりも、当たり前のように取り入れられるようになりました。舞台の上に水槽があって水しぶきが前方の客にかかるなんて、大劇場では考えられないことだったのに、今では最前列にはビニールまで用意されています。

「時代を追いかけようとしないで、これだという信念をもってやっていけば時代がついてきてくれる。私のベースは江戸、そこから未来が見えてくる」

「スーパー歌舞伎」を生んだ、三代目猿之助の金言です。

歌舞伎博物館としての相生座

相生座 2 階に展示されている舞台衣装



相生座は年数回の歌舞伎公演を行うほかは、美濃歌舞伎博物館として衣装や小道具の保管と展示・貸出などに力を入れています。小栗克介はすでに鬼籍の人ですが、娘の小栗幸江が館長を引き継ぎ、膨大な資料の保存と美濃歌舞伎の発展に邁進しています。訪問した時に、衣装や小道具が保管されている棚を特別に見せていただきましたが、一つひとつの品に対する愛情を感じました。

相生座についてさらに詳しく知りたい方には、以下の書籍をおすすめします。

『美濃の地歌舞伎』小栗克介編（岐阜新聞社発行）

『ぎふ地歌舞伎衣裳』小栗幸江企画・編（岐阜新聞社発行）

◆相生座(相生座美濃歌舞伎博物館)に行くには

最寄り駅 JR 瑞浪駅あるいは名鉄御嵩駅から車で約 20 分

見学に予約が必要な場合があります。公共交通機関の便がよくありません。よく調べてから行きましょう。歌舞伎公演開催の際は、旅行会社企画のチケット付きバスツアーなどを利用するのがおすすめです。

相生座：Google マップの URL = <https://goo.gl/maps/9zJ3fgd2DK2iz4v3A>

【岐阜県 かしも明治座・東座】

かしも明治座の正面



中村屋兄弟が名誉館主の理由

田舎道を進むと急に視界が開け、大きな三角屋根が目に見え込んできました。青空に映える芝居小屋「かしも明治座」の勇姿。創建は明治 27 年（1894）で、平成 27 年（2015）に約 120 年ぶりとなる大改修が終わりましたが、屋根の葺き替えは創建当時と同じクリやサワラの木の板を使うなど、文化的価値も考えて昔ながらの姿をしっかりと残しています。

歌舞伎その他のイベントがない日は見学可能。奈落（舞台の下）に入って回り舞台の構造を見たり、自分で動かしたりでき、引き幕の由来などもガイドさんが詳しく教えてくれます。楽屋の壁には役者たちの落書きがたくさん！

なかでも故・中村勘三郎のサインには皆さん大注目です。彼が初めてこの小屋に来たのは平成 18 年（2006）7 月のことでした。十八代中村勘三郎を襲名したときに、松竹大歌舞伎としては初めて、全国 9 カ所の芝居小屋でも襲名披露公演をしたのです。岐阜県内では、かしも明治座・東座・相生座の 3 座で公演。

現在、明治座は息子の七之助が名誉館主となり、兄の勘九郎は父親の後を引き継いで、東座の名誉館主を務めています。

岐阜の芝居小屋に行くには？

かしも明治座の内部。「娘引き幕」には寄贈した地元の娘さんたちの屋号と名前が意匠として入れられている。



岐阜県には芝居小屋が点在しています。いずれも公共交通機関での便がよくありません。芝居小屋の近くまで行くバスは、あっても 1 日に数便です。また見学する場合、予約が必要などところがあります。よく調べてからにしましょう。

歌舞伎公演の際は、旅行会社企画のチケット付きバスツアーなどを利用するのがおすすめです。

◆かしも明治座＝最寄り駅 JR 中津川駅から車で約 40 分

Google マップ URL

<https://goo.gl/maps/cosLgD2rZEDKsrzp9>

◆東座＝最寄り駅 JR 白川口駅から車で約 30 分

Google マップ URL

<https://goo.gl/maps/ixUciNJW9M15HaJA8>

第2章 「素人芝居」と侮るなかれ

東濃歌舞伎公演「仮名手本忠臣蔵 松の廊下」(2018)



【長野県 大鹿歌舞伎】

大鹿歌舞伎 (写真提供：おくだ健太郎氏)



農村芝居を有名にした映画「大鹿村騒動記」

前章では、プロの歌舞伎役者がいかに地方に残る芝居小屋に魅了されたかという視点で書いてきました。でも地方の歌舞伎の真髄は、地元の人々が自ら舞台に立っての素人芝居。これぞ農村歌舞伎の本当の魅力です。

映画『[大鹿村騒動記](#)』の公開（2011年）は、地芝居が平成の時代に改めて認知されるようになったきっかけの一つとなりました。

下伊那郡大鹿村で毎年行われる村芝居を通し、中年男女の三角関係をコミカルに、かつ情感豊かに描いたもので、主演は原田芳雄、監督は阪本順治監督。通常の歌舞伎公演になぞらえ、原田たちが歌舞伎を演じるロケも行ったので、地芝居の公演の様子がふんだんに見られます。神社の境内にたくさんの人々が詰めかけ、楽しそうに歌舞伎を観る人々の姿には、「村芝居」というものの本質がにじみ出て印象的でした。

もともと村の芸能には、稲刈りを終えた農村が豊年を感謝する、「奉納祭り」という側面があります。地芝居も神楽や舞など他の芸能とともに神社の奉納殿で開催される場合が多いですし、こんぴら歌舞伎の金丸座や岐阜の白雲座・常盤座など、常設の芝居小屋もだからこそ神社のすぐ近くに作られました。そして「芝居」の語源は「芝の上に居る」。役者は屋根のある舞台で演じますが、観客は野外の土や芝の上にゴザを敷いて観るのが一般的でした。今ならレジャーシートの上で思い思いの格好で観る、ロックフェスティバルに通じるのではないのでしょうか。

◆大鹿歌舞伎を観にいこう

長野県下伊那郡大鹿村で、毎年5月3日（大河原の大磧神社）、10月第3日曜（鹿塩の市場神社）で公演。松川IC（JR伊那大島駅経由）からバス60分。公演時は名古屋からのバスツアーが企画されることもあります。

大磧神社の歌舞伎舞台

Google マップ URL=<https://goo.gl/maps/KGv6vgvodwvYYVi67>

【香川県小豆島 肥土山農村歌舞伎・中山農村歌舞伎】

小豆島 肥土山農村歌舞伎



「芝居」は神社の境内で

段々畑のように芝が張ってある中山農村舞台前



瀬戸内海に浮かぶ小豆島には、中山と肥土山の 2 カ所に農村舞台が残っています。私が初めて体験した農村歌舞伎は、肥土山でした。小豆島を観光バスで回っていたのですが、訪れた日が偶然にも肥土山での農村歌舞伎が行われている日だったのです。バスガイドさんが「地元の人のお芝居なので、観光客は入れません」と前置きをしながらも、「でもちょっと覗かせてもらいましょう」と機転を利かせてくれたおかげで、神社に通じる階段の上の方から数分間だけ拝見させていただきました。その境内は、お客さんでいっぱい。今思えば、これが私の地芝居巡りの原点となっているのかもしれない。

また、中山農村歌舞伎舞台のある春日神社の境内には芝が張っており、奉納殿に向かって傾斜していて舞台が観やすくなっているのが特徴的でした。

肥土山農村歌舞伎「重の井子別れの段」(2010)



こうした素人芝居の始まりは地域によって様々です。旅芸人がその土地を気に入って定住し、村人に芝居を教え始めたところもあれば、商売のため町に出かけた人がそこで観た歌舞伎に感激し、プロの歌舞伎役者の興行を村で開催（これを「買い芝居」と言います）、それを機に村全体が歌舞伎に目覚め、自分たちでもやり始めた、というところもあります。何がきっかけであれ、地芝居は多くの農村で連綿と続いてきました。

とはいえ、戦争中は歌舞音曲を控えるようにというお達しがあるなど、「冬の時代」もありました。そんな時は「軍人さんの壮行会だから」といって許可を得たり、公式には「神事のお神楽がメインで歌舞伎はサブ」と伝えておいて、実際は時間の大半を使って歌舞伎を上演してしまうとか、あの手この手で存続させてきたと言います。みんなが歌舞伎を楽しみにしていた、ということでしょう。その楽しみこそが最優先。「ハレの日」「祭り」の日には当局も含め、多少のことには目をつぶる伝統が功を奏した形です。

一方、映画・テレビなど娯楽が豊富になったため、昭和 40 年頃には地芝居は一気に衰退します。衣裳などの維持管理も大変で、拠点となる芝居小屋も多くは廃されてしまいました。今でこそ脚光を浴びるようになった地芝居ですが、光が当たらなかった時もこれを愛し、令和の時代まで伝えてくれた人たちに、心から感謝したいと思います。

◆肥土山農村歌舞伎・中山農村歌舞伎を観に行こう

まずは香川県小豆島に。肥土山農村歌舞伎は毎年5月3日に、小豆郡土庄町肥土山地区の離宮八幡神社で。中山農村歌舞伎は毎年10月第二日曜に、小豆郡小豆島村中山地区の春日神社で。いずれも土庄港からオーリーブバス中山線で約20分。

・肥土山農村歌舞伎

Google マップ = <https://goo.gl/maps/yNjA28RjK1rq5osL9>

・中山農村歌舞伎

Google マップ = <https://goo.gl/maps/wWYTb69jWtCsLfw7>

【秋田県 森岳歌舞伎】

森岳歌舞伎が演じられる舞台の緞帳は、町民手作りのパッチワーク



「台風直撃でもやる！」が奉納スピリット

村芝居は基本的には収穫後の秋に行われることが多く（*）、それは取りも直さず「台風」の季節でもあります。秋田県三種町では森岳八幡神社の境内で歌舞伎を行います。舞台は常設でも客席はなく、舞台前方に敷物を敷いて座り、後方にはパイプ椅子を並べる野外鑑賞形式。そして芝居は必ず9月15日と決まっています。「神様にお見せするための歌舞伎」なので、お客さんが1人もいなくてもやるのだとか。台風直撃の年も、轟々の嵐の中でやり通したそうです。

私が行った2018年の出し物は「兎原林住家（うばら・はやしすみか）の段」別名「あばら家」。「熊谷陣屋」の段で有名な長編「一谷嫩軍記」の中的一幕ですが、プロの歌舞伎ではほとんど観られません。かつて姫の乳母だった老婆の住むあばら家が舞台で物語は悲劇。でも、老婆とドラ息子の掛け合いなどは、地芝居ならではのアドリブが入ってユーモラスに描かれます。「田舎芝居かもしれません。でもこの雰囲気でするからこそ『あばら家』という作品が生きる。だからずっと残っているんです」。保存会の会長さんは、そう言って胸を張りました。

（*）一般的に1回の場合は秋が多いが、春と秋の2回など、回数や時期は土地によって異なる。

◆森岳歌舞伎を観に行くには

秋田県山本郡三種町の森岳八幡神社で、毎年9月15日に公演。JR森岳駅から徒歩10分。

Google マップ = <https://goo.gl/maps/7xb9axowhWzSQLGdA>

同日近くの三種町山本ふるさと文化館で開催される「伝統芸能の祭典 in みたね」も一見の価値あり。（特に「番楽（ばんがく）」という山伏神楽は圧巻）

【岐阜県 高雄歌舞伎】

高雄歌舞伎「熊谷陣屋」(2016)



プロ顔負けのスーパープレイも！

地芝居の素晴らしさを伝えようとする、「でも、プロの役者が演じるのではないですよね」と言われることがしばしばあります。確かに彼らは他に生業を持っています。では学芸会のようなものと問われれば、それもまた違う。一番近いのは高校野球ではないかと思えます。高校野球はアマチュアスポーツ。コアな応援者は「家族」「OB」「地元」「知り合い」ですが、出場校に全く関係がなくても甲子園での熱闘そのものが好きで、毎年通わずにはいられない人、いますよね。

地芝居も高校野球同様、プロに負けない魅力が潜んでいるような気がします。高校野球は負けたら終わりのトーナメント、地芝居も公演は年に1日か2日。「この1回」に賭ける情熱は、観客の私たちにも伝わってきます。そのひたむきさが、ある瞬間に飛び出す奇跡のスーパープレイを生むのかもしれない。

私が心底地芝居の虜になったのは、高雄歌舞伎（郡上市）で行われる子ども歌舞伎の「熊谷陣屋」を観た時でした。「熊谷陣屋」は源氏の武将・熊谷直実が、密命を実行するために自分の子どもを身代わりに殺さねばならなくなり、それを敵にも味方にも、自分の妻にもさとられてはならないという、男の苦悩の極致を描いた格調高い作品（*1）。

直実は愛息を斬った悔恨で身体中が爆発しそうなのに、外見的にはその「決断」を、武士としては当然の忠義のように振舞わねばならない、プロでも大変難しいお役です。それを10歳の男の子がやるというのですから、私はそれこそ「学芸会」程度、セリフを忘れずに言えるか、棒読みでも構わないから失敗しないで最後まで通せたら大拍手だな、などと思っていました。それも高雄歌舞伎の公演会場は、かしも明治座や相生座のような、いわゆる「芝居小屋」でもなければ、肥土山農村歌舞伎や森岳歌舞伎のような「境内」でもない、小学校の体育館なんです。本当に、「子どもの学芸会」とどこが違うんでしょう？

ところが！ 暗く低い太棹三味線の「deen、deen……」という調べに乗ってうつむきながら花道を歩いてきたその瞬間から、直実は、小学5年生とは思えぬ張り詰めた空気を纏っていたのです。そして見事なセリフ回し。子どもの死に首を見てうろたえる2人の母親に対し、自分の妻には「騒ぐな！」、高貴な女性に対しては「お騒ぎあるな」と、見事にトーンを変えてそれぞれを制してみせます。

息子の死を無駄にさせまいと、目で、表情で、必死に訴えるその緊迫感！ 素人なのに、子どもなのに、なんでこんなことができるのか？ 人物の大きさといい、重厚な口跡といい

い、地芝居を侮ってはいけないと思い知らされました。

「浜松屋見世先の場」で弁天小僧を熱演したのは学校の先生（2016）



小学校の体育館で、飲みながら食べながら見る歌舞伎

もう一つ、高雄歌舞伎で驚いたのは会場の雰囲気です。土曜の夜に小学校の体育館で実施するのですが、舞台の前の床一面に、運動会のランチタイムと見まごう色とりどりの敷物。その上に自慢の手料理を並べ、大人たちは芝居が始まる前からガンガン酒盛りです。子どもは後ろの方で、キャーキャー騒いで元気に鬼ごっこ。これで舞台を始められるのか、少々不安に思うくらいのカルチャーショックでした。

幕が開くと、地元の人が「あれは英語の先生」「あれは僕の教え子」「あれは植木屋さん」などと教えてくれます。とびきり美味しい三味線を弾いているのが役所の人だったりします。彼らが生業のかたわら、夜遅くまで稽古していることを観客はよく知っていますから、多少の失敗は想定内。知り合いが出れば「○○ちゃん、カッコいい！」などと次々に声がかかり、小銭を紙で包んだ「おひねり」(*2)を舞台に飛ばすこと雨あられ！ この「双方向」の娯楽性が、地芝居ならではの活力を生み出すのでしょうか。

お客たちは芝居の最中でも「ほれ、もっと飲め」「これ美味しいよ」と自由気ままに時を過ごしますが、気がつくとき水を打ったように静かになっていて、見回せば、全員が役者の演技をじっと見つめているではないですか！ それは役者の力であり、物語の力、でも観客の力でもある。皆、芝居をよくご存知で、「ここぞ」という場面は絶対に見逃さないのです。

プロの歌舞伎も、昔はご飯を食べながら観劇していました。幕開きに「お茶、お菓子、お弁当など召し上がりながら、ゆるゆるとご鑑賞ください」と口上が残っているほど。飲食禁止・私語禁止が当たり前の観劇ルールとは対照的な地芝居から、私は歌舞伎の本当の力を教えられたような気がしました。

(*1) 第一回下の回にも出てきた長編「一谷嫩軍記」は、「平家物語」の中の「敦盛最期」の登場人物をベースに展開。熊谷直実は平敦盛を助けよという密命のため、身替りに自分の息子を殺す決意をする。

(*2) 高雄歌舞伎では「おひねり」に小銭を使わず飴のようなもので代用することもあり、回収してはまた投げる。

めいめいが持ち寄る自慢の手作りお弁当



本当は今でも高雄神社の廻り舞台

高雄神社の舞台



高雄歌舞伎がなぜ小学校の体育館で行われているかという、理由は「雨天中止にさせないため」。かつては高雄神社の境内で開催していたものの、上演中に雨が降ってきての混乱が続いたために、場所を小学校の体育館に変更したそうです。「神様への奉納」を大事にして神社での開催という伝統を守り続けるのは素晴らしい考え方です。でも、観に来てくれた家族や友人には思う存分お芝居を楽しんでもらいたい、そう思うのも人情。芝居小屋＝劇場という空間自体、そうした思いから作られたのだと思います。大切なのは、皆が納得することなのでしょう。

体育館でのアットホームな公演が楽しくて毎年行ってしまう高雄歌舞伎ですが、高雄神社の拝殿は現在も使用可能。ここには大きな廻り舞台があり、宙乗り用の仕掛けまで付いているというのですから、使わないのももったいない気がします。いつか神社の拝殿で、廻り舞台や宙乗りを使った高雄歌舞伎も観られたらいいな、と願ってやみません。

◆高雄歌舞伎を観るには

10月の第一土曜日、郡上市立口明方（くちみょうがた）小学校体育館で公演。長良川鉄道・郡上八幡駅から車で約15分。郡上市には他に気良（けら）歌舞伎も15年前に復活し、9月第3土曜日、明宝コミュニティーセンターでの定期公演の他、11月には郡上総合文化センターで、高雄・気良の合同公演もある。

郡上口明方小学校

Google マップ URL= <https://goo.gl/maps/2HBW1WXMjjuvWXW17>

第三章 地芝居のミライ、歌舞伎のミライ？

地芝居の定番「緋背川勢揃いの場 白浪五人男」(高雄歌舞伎 2016)



【滋賀県 長浜曳山祭】

八幡宮の境内に次々と到着し、整列する曳山（2017）



世界遺産になったモバイル芝居小屋

曳山の舞台の周りに張り出した付け板の上で演じる役者と、それを支える若者衆（2017）



平成 28 年（2016 年）、京都の祇園祭・山鉦巡業をはじめとする「山・鉦・屋台行事」がユネスコ無形文化遺産に登録されました。日本全国にある「山・鉦・屋台行事」のうち、登録されたのは 33 件。滋賀県長浜市の「長浜曳山（ひきやま）祭」もそのうちの 1 つです。

祇園祭に勝るとも劣らぬ豪華さで「動く美術館」ともいわれていますが、長浜ならではの最大の特徴は、曳山上で子ども歌舞伎が上演されることでしょう。曳山は幅約 3m、奥行約 7m、高さ約 7m、重さは約 6t。入母屋造で 2 階建、その 1 階部分前方にあたる約四畳半の舞台に何人もの子どもたちが上がり、たっぷりと芝居を演じるのです。

私が曳山祭のことを知ったのは、所用で長浜市を訪れた時、街を歩いていて目についた「曳山博物館」にふらっと入ったのがきっかけです。まずは展示されている本物の曳山の大きさに圧倒されてしまいました。そして館内に流れるビデオにくぎ付け。毎年 4 月上旬に行われる大祭に向けて子どもたちが歌舞伎の稽古をする様子を見て、すっかり彼らの虜になった私が、翌年の大祭に出かけたのは言うまでもありません。

四畳半の舞台に上がる子ども役者たち (2017)



長浜の曳山は全部で13基。毎年必ず曳き出される長刀山（なぎなたやま）を除いた12基が歌舞伎舞台となるのですが、この12基の中から交代で毎年4基ずつが巡行します（*）。それぞれの曳山が所属する町内の街角で歌舞伎を上演する「自町狂言」が終わると順次、八幡神社に曳行（これを「登り山」と言います）し、境内に曳山を並べて神様の前で「奉納狂言」を行います。

京都の祇園祭りでは現在、長刀鉾に1人だけ稚児が乗ってあとは人形ですが、昔はすべての山鉾に稚児を乗せていたといます。長浜の曳山で子ども歌舞伎の奉納が行われるのは、単に子どもだと可愛いか大人では入りきらないとかの理由ではなく、無垢な稚児の神聖さに祈りを託するという意味があるに違いありません。

ですから祭りの本分は、あくまで神社での「奉納歌舞伎」。でも私は、「自町狂言」に大きな魅力を感じました。どこかへ芝居を観に「行く」のではなく、芝居が町まで「来て」くれる「モバイル芝居小屋」的な魅力があるのです。

町の中で見る曳山は、非日常であるはずの劇場空間が日常生活の中に現れながらも景色に馴染み、いかにもふるさとの祭りの一コマというなごやかさがあります。狭い路地であったり駅前駐車場であったりと街角で行われる自町狂言は、曳山の周りに押すな押すなの人出。舞台の正面から観られるとは限らず、横から見るともしばしばです。そうであっても、出演する子どもたちの世話をする人、曳山から張り出した付け板を支える人、曳山の移動時に屋根の上から指令を飛ばす人など、裏方の苦勞をすぐ目の前で見られる臨場感は格別。ワクワクがとまりません。

（*）祭り期間中に巡行する曳山の数は通常、長刀山を加えた5基。歌舞伎を上演する曳山の出番は、それぞれ3年に一度ということになる。

◆長浜・曳山祭りを観に行こう

長浜曳山祭は、4月9日～17日に行われるお祭りです。1週間ほどの祭礼のうち、子ども歌舞伎が見られるのは、毎年4月13～16日。詳しくは[こちら](#)をご覧ください。

毎年詳しいスケジュールが出ます。2022年の分は[こちら](#)。

（コロナの影響で、一部行事が中止となっているのでご注意ください）

・長浜八幡宮へはJR長浜駅から長浜八幡宮まで徒歩約15分程度。

自町狂言は駅前などでもやります。駅の観光案内でマップをもらっておきましょう。

Google マップの URL

= <https://goo.gl/maps/MB5XJgryjcEmYiZr7>

自町狂言を終え八幡宮まで曳行する法被姿の男衆。
法被は町会ごとに決まった揃いなのだ。(2017)



文化の保護継承の基地・曳山博物館



ユネスコ無形文化遺産になったことで、長浜の曳山祭はより注目を浴びることになりました。2017年には11年ぶりに全13基が八幡神社の境内に曳き出され、その雄姿は圧巻だったといいます。私を曳山祭の虜にした前述の曳山博物館は、観光スポットであると同時に文化継承の基地でもあります。

有形文化の点からは、曳山の修復ドックを備え、修復を通じて伝統工芸の継承に努め、無形文化としては子ども歌舞伎を絶やさないよう「三役修行塾」を開講。三役とは、曳山祭の歌舞伎で振付・太夫（語り）・三味線を指し、この三役を担う人材を養成する塾として、平成2年に開講されました。

こうした文化財の保護継承の精神も、ユネスコに登録された理由の一つではないでしょうか。

曳山の整備、曳き手の確保、子ども歌舞伎の役者などなど、毎年欠かさず祭りを開催するのは金銭的にも人材的にも容易なことではありません。地元の人たちの参加意欲が増してスポンサーも増え、そして観光に訪れる人が多くなるために、世界的に認められたことがいい追い風になってくれるのではと思っています。

・曳山博物館へも駅から歩いていけます。商店街も楽しいですよ。

Google マップの URL

=<https://goo.gl/maps/SAdn5RYtyN9xUEMy5>

【岐阜県 垂井曳やまつり】

衣装を着けて行進する役者たちの古式練り込み (2019)



「古式練り込み」はテーマパークのパレード！

曳山の上での子ども歌舞伎は長浜だけの専売特許ではありません。私は岐阜県不破郡垂井町で毎年5月に行われる「[垂井曳やままつり](#)（*1）」に行ったことがあります。ここでも子どもたちは大変質の高い演技を見せてくれました。曳やまは3輦。漆塗りに蒔絵、彫刻金具を施した豪華さで、“動く陽明門”とも称されるほど。南北朝時代の1353年以来660年以上も続くといわれ、その上で子ども歌舞伎をやるようになったのは、江戸時代安永年間（1772～1780）からだそうです。

3輦とも毎年やまを曳き出して歌舞伎も上演。神社では横並びの3輦のうち、上演する曳やまが神殿の真正面に来るように、上演が終わるごとに曳やまを動かすのが特徴です。また「古式練り込み」（*2）という行列がかわいらしい！ 出演者たちが舞台衣装を着て、町役場前から神社まで行進します。お父さんやお母さんも間近で写真を撮ったりしてうれしそう。羽織袴や法被姿の大人たちと演者たちが中山道の宿場町の風情を残す垂井の町を練り歩くさまは、さながらテーマパークのパレードのようです。

（*1）正式には「やま」は車扁に山の一文字。パソコンでは変換できないが、「山車」を意味する「やま」の字として、地元では意識的に使われている。

（*2）長浜曳山祭でも同じような行列があり、「役者朝渡り」「役者夕渡り」と呼ばれる。

◆垂井曳やままつり＝毎年5月2～4日（JR垂井駅から八重垣神社まで徒歩約20分）

八重垣神社

Google マップの URL = <https://goo.gl/maps/Tb3a5ghCcE94ZMzEA>

【岐阜県 東美濃ふれあいセンター歌舞伎ホール】

東濃歌舞伎公演「絵本太功記（十段目）」（2019）



「平成の芝居小屋」で気づかされた歌舞伎のミライ

東美濃ふれあいセンター歌舞伎ホールの緞帳は中山道の風景



岐阜県中津川市に、東美濃ふれあいセンターという総合施設があります。バレーボールやバスケットボールができる多目的アリーナを有する一方、同じ階に座席数 600 の「歌舞伎ホール」も。歌舞伎以外のイベントにも対応できますが、舞台前方 7 列分の椅子は床下に収納して桝席にもなり、花道やスッポン、セリなど歌舞伎独特の装置を備えた本格的な劇場です。

このホールができたのは 2000 年。当時岐阜県では、全国の自治体で最多の 32 の地芝居保存団体が活動していることに注目し、「わが県の地歌舞伎（*1）を後世に伝えていこう」という機運が高まりを見せていました。中津川では毎年 3 月に「東濃歌舞伎中津川保存会吉例歌舞伎大会」、12 月は 3 年に 1 度、「東濃歌舞伎大会」（*2）を開催していましたが、この歌舞伎ホールのオープンもあり、「東濃歌舞伎大会」も毎年開催するようになります。そして平成 21 年（2009 年）、日本一芝居小屋が多く残っている東濃地方の地歌舞伎と芝居小屋（恵那市・中津川市・瑞浪市）が、県から「岐阜の宝もの」（*3）として認定されました。翌 2010 年には応援組織「岐阜自慢ジカブキプロジェクト」（*4）も発足します。

私が「東濃歌舞伎中津川保存会 吉例歌舞伎大会」を観るためにこの歌舞伎ホールを初めて訪れたのは、2016 年。以来、「東濃歌舞伎大会」も含め、毎年のように訪れるようになりました。物語や人物をくっきりと表現する演技には、いつも胸を打たれます。驚かされるのは日ごろの稽古の仕方。振付師がいらっしゃることは知っていましたが、そうだとプロの舞台を見て研究したりするののかと思っていたら、「ほとんどの人間は、歌舞伎座はおろか名古屋の御園座にも行ったことがありません」と言うではありませんか！

「それではどうやってあそこまで奥深い役作りができるのですか？」と問うと「ひたすら台本を読むんです」という答えが返ってきました。台本、つまり浄瑠璃本を読み込むというのは、プロの役者でも最も大切なこととされています。形から入るのではなく、とことん物語と向き合ってつくられる舞台からこそ、地芝居はこれほどまでに人の心を揺さぶるのだ！と納得しました。

さらに私の認識を 180 度変えたのが、女性の活躍です。現在、プロの歌舞伎は男性だけで演じていますが、それはなぜでしょうか。女方と女性は違う、衣装も重いし女性にはできない、女性が演じると妙になまめかしくなるなど、男性だけである理由はいくつも耳にします。けれども東濃歌舞伎で「神霊矢口渡」を見た時、そんな「常識」は吹き飛びました。

お舟は渡し守の頓兵衛の娘。彼女が一目ぼれした男・義峯は、お舟の父によって兄を殺されています。さらに義峯の命も危うくなったとき、お舟は「父か思いびとか」に挟まれて、難しい決断を迫られていきます。これまで私が観てきた中で、最高に心揺さぶられたお舟。そのお舟を演じていたのは女性だったのです。

その時私は悟りました。男性だけの歌舞伎に何の違和感も持っていなかったのは、世間でなくて、私でした。女性が歌舞伎をできない理由を単に「決まり」や「伝統」なのだと「頭で納得」していただけです。

「プロでなくては、男性でなくては、できない女などない」

……そうはっきり感じた瞬間でした。

もちろん、「だから今すぐプロの歌舞伎の舞台に女性を入れろ」というものではありません。ただ、「女性はできない」という考えに凝り固まっていつまでも門戸を開かないでいては、この先の歌舞伎は、歌舞伎好きで勉強熱心で才能ある逸材を逃すだろう、と懸念するだけです。

役者だけではありません。東濃に限らず地方に行くと、太夫も三味線も人形遣いも、女性は至る部門で力を発揮し、プロに劣らぬパフォーマンスを見せてくれます。私は女性でありながら女性の力を見くびっていた、偏見をもっていたということを、地芝居に教えられました。師匠の言葉に耳を傾け常に本と向き合い、研究熱心で稽古に励む人には、プロもアマも、男も女も、大人も子どももないのです。

今、歌舞伎は大いに人気がありますが、少子高齢化で人口減少が急速に進む日本で、「男性だけ」の今の形でいつまで歌舞伎をやっているのか、時々不安になります。女性でも子どもでも外国人でも、歌舞伎を愛し精進する人たちがいれば、質の高い歌舞伎は無事に受け継がれていく。そうした歌舞伎のミライをも、地芝居は宿しているのではないかと私は本気でそう思っています。

◆「東濃歌舞伎中津川保存会 吉例歌舞伎大会」「東濃歌舞伎大会」に行くには

「東濃歌舞伎中津川保存会 吉例歌舞伎大会」は毎年3月の第一日曜に開催。【2021年はコロナの影響で延期されたが、[4月24日（日）に開催](#)することが決まった。】

美濃ふれあいセンターへはJR美乃坂本駅からタクシーで約5分。大会当日は、JR中津川駅からシャトルバスが出る。ただ、コロナ禍で開催の中止や延期が繰り返されており、開催されたとしてもシャトルバスが出ないこともあるので、事前にチェックを怠らないように。

「東濃歌舞伎大会」は毎年12月第2日曜日に開催。

・東美濃ふれあいセンター [歌舞伎ホール](#)

Google マップの URL=<https://goo.gl/maps/SqV2rFB7uji1AFMQ9>

(*1) 地方の芝居を、歌舞伎も人形芝居も含め「地芝居」というが、岐阜では歌舞伎に特化して「地歌舞伎」と称している。

(*2) [中津川歌舞伎保存会](#)のほか、[常盤座歌舞伎保存会](#)などとの共催。

(*3) 岐阜県は平成19年に「みんなでつくろう観光王国飛騨・美濃条例」を制定。地歌舞伎と芝居小屋は、観光王国岐阜県の実現を目指す飛騨・美濃じまん運動推進に欠かせない「宝物」の一つとなった。最近ではスペイン・フランスなど海外公演も果たすとともに、限取やおひねり・大向うなどの観客体験型プログラムも積極的に提供するなど、官民が一体となって地歌舞伎を多角的に発信している。詳細は、

(*4) 「ジカブキプロジェクト」詳細については、[ジカブキプロジェクト Facebook](#) 参照。

東濃歌舞伎公演「神靈矢口渡（頓兵衛住家）」（2019）



【岐阜県 常盤座】

常盤座の外観



奇跡の芝居小屋「常盤座」はバトンを未来につないだ

岐阜県には、たくさんの芝居小屋が残されています。中津川にも、立派な歌舞伎ホールだけでなく、芝居小屋「[常盤座](#)」があり、ここでも公演をし、館内見学もできます。

ここは数奇な運命を辿った芝居小屋です。戦時中は保管庫として使われていました。戦後のある時期、芝居小屋としての機能をすべて壊して公民館として使うか、それとも芝居小屋の機能を残して保存するかを投票したと言います。結果は1票差で「残す」ことに。今私たちがこの勇姿を見られるのは、その時の「1票差」のおかげかと思うと、よく残してくれた、本当に首の皮一枚で救われた芝居小屋だな、と感慨深いです。

他の芝居小屋も、多かれ少なかれ時代の波に翻弄されたことでしょう。その中で、機能や形を変えながら今に至っています。どんなことがあっても、地芝居と芝居小屋を残し、私たちの世代にバトンをつないでくれたことには、感謝しかありません。

◆常盤座へ行くには

JR 中津川駅から車で約 20 分（あるいは最寄りのバス停「並松」から徒歩 20 分）

Google マップの URL=<https://goo.gl/maps/RBPXdCaFdQN8E8Wa6>

見学時間や公演予定など、詳しくは「[常盤座](#)」の Facebook ページまで。

◆岐阜の芝居小屋一覧

[地芝居フィールドマップ](#)

常盤座の引幕の一枚。寄贈した人々の名前や家紋、屋号などが書かれている



【岐阜県 ぎふ清流文化プラザ長良川ホール】

2020 地歌舞伎勢揃い公演チラシ



コロナ禍の中でやり遂げた「地歌舞伎勢揃い公演」

岐阜県には今回の連載中に紹介した東濃歌舞伎や高雄歌舞伎、垂井曳やまなどをはじめ、30 を超える「地歌舞伎」保存団体があり、活発に活動しています。各保存会はそれぞれ発表の場を設けていますが、2020 年にぎふ清流文化プラザの長良川ホールで「勢揃い公演」が開催されることが決まりました。

「勢揃い」といってももちろん 30 団体を一日では無理。1 月から 7 月の土曜・日曜を使い、のべ 11 日で網羅しようというものです。

保存会によっては公共交通の便がよくなかったり、芝居小屋の収容人数が少なかったりすることがネックでなかなか知られにくいものもある中、ぎふ清流文化プラザは JR 岐阜駅からバスで 20 分という立地にあり座席数が 500 席。今回の試みは、さまざまな地歌舞伎を観るよい機会になるのではないのでしょうか。この勢揃い公演をきっかけにして、「今度はぜひその町に行って芝居を見たい！」と各地域に足を運んでくださる方が増えることを、皆大変期待していました。

しかし、2019 年暮れから世界規模で感染拡大が始まった新型コロナの大流行により、公演は 2 月までで一旦中止を余儀なくされます。でも、岐阜のジカブキはへこたれません。途中、動画配信にしたり、地元の人だけを入れたりと紆余曲折を経ながら、残りをやり遂げ、2021 年 11 月に大千穂楽を迎えました。そのパワー、その歌舞伎愛が、地方の芝居小屋を 21 世紀に伝えてくれたのだ、と感謝の気持ちでいっぱいです。

- ◆「地歌舞伎勢揃い公演」については、[岐阜県の HP](#) に詳しくまとめてあります。
- ◆岐阜の地芝居については、[「地芝居大国ぎふ WEB ミュージアム」](#) をご覧ください。
- ◆全国の地芝居については、[地芝居ポータルサイト](#) をご覧ください。

あとがき

コロナは「劇場に足を運ぶ」「役者と観客が同じ空間を共有する」という演劇の当たり前を、私たちから奪いました。動画配信も多くなりましたが、とりわけ地芝居にはその地を訪れる楽しみがあり、劇場でもおひねりを投げたり、初めてでも自由に大向こうをかけられたり、と参加型のエンタメであるだけに、観客として、中止や延期は残念でなりませんでした。

かたや「演じる側」から見ても、中止は大打撃です。プロの大歌舞伎公演とは異なり、地芝居は年に1回か、多くて2回しか公演がありません。そのたった1回しかない公演のために、協賛を募り稽古をし、1年を過ごします。その努力を、コロナはあっという間になぎ倒していきました。

彼らはプロの役者達ではありません。大人達には本業があります。子ども達は小学生から中学生になり、中学生は高校生になる。男子は声変わりもあります。1年で環境がガラリと変わり、「また来年やればいい」というわけにはいかないのです。

それでも、彼らは辛抱強く「次の機会」を企画し、流れても流れても、必ずやり遂げてきました。

コロナはまだまだ収束に至らず、これからも困難が待ち受けているでしょう。けれど、「戦争中もやり続けた」芝居好きな人々の系譜は、これからも歌舞伎を続けて行ってくれるものと信じています。私も、通い続けていきたいと思っています。役者がいて、観客がいて、初めて成り立つのが演劇なのですから。

エンタメ水先案内人 仲野マリ プロフィール

1958年東京生まれ、早稲田大学第一文学部卒。

映画プロデューサーだった父（仲野和正・大映映画『ガメラ対ギャオス』『新・鞍馬天狗』などを企画）の影響で映画や舞台の制作に興味を持つ。歌舞伎、ストレートプレイ、ミュージカル、バレエなど、年120本以上の舞台を観劇し、現在はおもにエンタメ系の劇評やレビューを書く。坂東玉三郎、松本幸四郎、市川海老蔵、市川猿之助、片岡愛之助などの歌舞伎俳優や、宝塚スター、著名ダンサーなど、インタビュー歴多数。作品のテーマに踏み込みつつ観客の視点も重視した劇評に定評がある。2001年第11回日本ダンス評論賞（財団法人日本舞台芸術振興会／新書館ダンスマガジン）佳作入賞。日本劇作家協会会員。

【ライター】

2006年、映画紹介コラム『仲野マリの気ままにシネマナビ』連載開始。現在も連載中。

2013年、六耀社「[ソリストの思考術](#)」シリーズ「[館野泉](#)」発行において、ピアニスト館野泉の聞き手となり、執筆・編集に協力。

2017年、「[恋と歌舞伎と女の事情](#)」（東海教育研究所）発行。

雑誌、書籍、ウェブなど媒体を問わず、劇評やインタビュー記事を執筆している。

【歌舞伎解説講師】

2013年、GINZA 楽学倶楽部「女性の視点から読み直す歌舞伎」開始。現在も継続中。

2014年、MOVIX 柏の葉などでシネマ歌舞伎の上映前解説を開始。現在まで毎年開催。

他にも歌舞伎ビギナー向け講座講師、観劇バスツアー講師などを務める。

【歌舞伎関連電子書籍（kindle）】

「ギモンからひもとく！ 歌舞伎を観たい人のためのビギナーズガイド」

「鎌倉武士の出てくる歌舞伎作品」

「地方の芝居小屋を巡る」（本書） *いずれも amazon にて販売

「エンタメ水先案内人」とは

仲野マリは、執筆に加え講師としての登壇を開始したのを機に、それまで名乗ってきた

「ライター」と、その後始めた「講師」を融合した肩書きとして2015年5月から「エン

タメ水先案内人」を名乗っています。2006年に開始し現在も連載を続けている映画紹介コーナーのタイトル「仲野マリのシネマナビ」の「ナビ」に由来して命名しました。

ジャンルや和洋新旧を問わず、幅広くエンタメ作品を見続けてきた仲野マリは、当初からエンタメ作品の魅力を皆様にご紹介するためのナビゲーター（水先案内人）。これからも作品に込められたテーマや演技陣のパッションを実感していただけるよう、「書く＝ライター」と「語る＝講師」を駆使してまいります。

【仲野マリ公式 HP】 <https://www.nakanomari.net>

【LINE】 <https://lin.ee/6h1Ayxe>

LINE 公式「エンタメ水先案内人 仲野マリ」

★登録すると、配信動画「きっと歌舞伎が好きになる！」の次週テーマなどをいち早くお知らせし、質問などを LINE で募集しますので、ライブ配信にてあなたのギモンにお答えできます。また、コロナ下ではリモートで、アフターコロナではリアルでのファンミーティングや観劇ツアーなども企画しております。お気軽にご登録ください。

